

文化財ってなんだろう?



東京の文化財

東京都教育庁生涯学習スポーツ部計画課

江戸城中ノ門内大番所

小中学生のための文化財講座



たけしのおじさん、今日学校で地域の歴史と文化財を学んだけど、文化財ってなに。



文化財という字は、文化と財という二つの字からできているよね。文化というと思う。



文化祭とか文化村とか文化会館、かな。



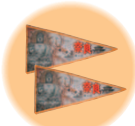
文化というのは、生活していく中でさまざまな生活スタイルや状態なんだ。それは、話し方や服装、ごはん食やパン食の違いや好きなものなど、地域によるあらゆる違いをまとめて文化のちがいというんだ。文化というのは生活そのもののなんだよ。

そして財というのは財産、つまり「大切にしているもの」のことだよ。だから文化財というのは、生活する中で生まれたさまざまなものの中で貴重で「大切にしているもの」を言うんだ。

まもるくんの「大切にしているもの」はなんだい。



ぼくはやっぱりゲームかな。



おじさんの「大切にしているもの」はいろいろあるけど、一番は旅行先で買った三角形の旗(ペナント)だな。旅先のたのしい思い出があの旗にはつまっているんだ。

まもるくんのお父さんやお母さんはどうかな。



お父さんの「大切にしているもの」はゴ

ルフのクラブかな。お母さんは、ダイヤの指輪だと思う。



「大切にしているもの」は人それぞれにちがうことはわかるよね。金貨やダイヤみたいに、高価なものとして大切にしているものもあれば、お金としてはたいしたものではないが、思い出がつまった持ち主にとってはかえるものがない貴重なものまでいろいろなものがあるよね。

そして人それぞれに違いがあるんだけど、大勢の人たちが共通に「大切にしているもの」と認めることができるものがあるんだ。この町の人達に共通する「大切にしているもの」、もう少し広い範囲の人にも共通する「大切にしているもの」、日本全体に共通した「大切にしているもの」などがあるんだよ。



みんなの「大切にしているもの」というのはわかったけれど、文化財ってどういうのがあるの。



文化財というのは文化の中で「大切にしているもの」のことだから、生活していると生まれるほとんどすべてのものが対象となるんだ。きる物、住むもの、生活道具、うたや落語などのごらくなんかだな。それと、今の生活は、過去の長い歴史があって初めて「今」があるので、歴史的なできごとがあった場所とか、その残されたものなども貴重な「大切にしているもの」となるんだ。